

石狩川滝川地区水害タイムライン検討会（第1回）

タイムライン策定に向けて「石狩川滝川地区水害タイムライン検討会（第1回）」を開催しました。検討会ではアドバイザーによる講演後、参加機関によるワークショップを実施し、防災行動の具体化に向けた、想定シナリオの共有や防災行動実施上の課題抽出を行いました。

- 開催日時 平成27年11月26日（木） 13:30～17:00
- 実施場所 たきかわ文化センター（滝川市）
- 参加機関 滝川市等23機関

開会の様子

検討会には各関係機関の防災担当者に加えて、アドバイザー、オブザーバー、一般傍聴者など総勢約130名が参加しました。気象庁札幌管区気象台 総務部の西潟業務課長より開会の挨拶があり、検討会がスタートしました。



開会挨拶
西潟 業務課長



検討会の設置要綱(案)の説明
秋山 河川管理課長

アドバイザーによる講演

検討会のアドバイザーであるNPO法人 環境防災研究機構 北海道 黒木専務理事による講演が行われ、参加者は熱心に耳を傾けました。また、本検討会の設置要綱(案)について、説明があり、11月26日付で施行されました。



講演「滝川地区の流域特性と水害」
黒木 アドバイザー



想定シナリオ(気象状況)の説明
青木 水害対策気象官

参加機関によるワークショップ

■滝川地区における想定シナリオの説明

札幌管区気象台の青木水害対策気象官、札幌開発建設部の秋山河川管理課長より、滝川地区における気象・河川状況の想定シナリオに関する説明があり、具体的な防災行動を考えるためのイメージの共有を図りました。

■ワークショップの実施

松尾座長より「①どんな被害が想定されるか」、「②何をすべきか」、「③どんな課題があるか」の3つのテーマが与えられ、参加者は各テーマに対しての意見を付箋に記入し、それぞれの立場で取るべき防災行動について情報共有しました。事務局である札幌開発建設部、札幌管区気象台、滝川市、黒木アドバイザーの講評の後、松尾座長よりタイムライン検討に必要な視点の解説、総括講評があり、第1回検討会は閉会となりました。



ワークショップの様子



意見抽出の様子



松尾座長による解説・講評

【主な意見の抜粋】

①どんな被害が想定されるか（想定シナリオの被害状況）

家屋浸水、道路・交通の冠水、高齢者等の孤立、ライフラインの機能停止、管理施設の被害等

②何をすべきか（①に対する防災行動）

情報収集・伝達、避難指示、水防活動、応急復旧、交通規制、防災備品の備蓄等

③どんな課題があるか（②を実施する上での課題）

洪水等に関する情報不足、災害対応の人員確保が困難、水防活動実施の時間不足、水防に携わる職員の安全確保等